

なごみま☆ ロショット

小田 おだ
H23年11月28日生まれ
瑛大くん えいだい
(西本町)



父・母：乗りものと昆虫がとっても大好きな瑛くん。力強く、たくましく育ってね。

小田 おだ
H26年1月8日生まれ
彩乃ちゃん あやの
(西本町)



父・母：歌が流れると思わず体が動いてしまう彩乃ちゃん。誰にでも優しくできるように育ってね。

角脇 かどわき
H27年8月3日生まれ
みちるちゃん みちる
(総領町)



父・母：少しずつ表情が出てきたみちるちゃん。どんな女の子になるのが楽しみです。

お子さんの写真を載せてみませんか？
3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データも可)に、名前(ふりがな)・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、情報政策課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



NPO法人 マツタケ山再生研究会

活動 マツタケ山の再生、環境整備など
内容 マツタケ山再生を目指し、環境整備や植樹などに取り組んでいます。地域住民や小学生との共同作業も行い、里山への関心を高めるなど地域活性化のため活動しています。

【問い合わせ】 事務局 ☎0824-72-3343

市民活動団体登録をしませんか？
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治まちづくり係 (☎0824-73-1209)まで。

かんぱれ！ スポーツ少年団

●総領サックス

総領サックスは、総領少年野球部と峰田少年野球の2チームが合併し、チーム発足後2年目を迎えました。現在は総領小学校と峰田小学校に通う児童20人が在籍しています。現在、週3回の練習を通じて技術の向上を図り、野球のみならず普段の生活でもチーム名の由来である「感謝」の気持ちを忘れないチームを目指し、日々活動しています。随時、新入部員を募集しています。練習の見学・体験でも結構です。ご連絡をお待ちしています。連絡先：三浦健司 ☎090-1016-4524



やたがい かずひこ
八谷 和彦さん(小用町)
庄原市出身。32歳。高等専門学校卒業後、10年間東海地方で鉄道会社に勤務したのち平成25年に帰郷。親・子牛含めて取材当時の頭数は乳牛17頭、肉牛8頭。米、野菜もつくる。祖母、両親、妻、そしてネズミ対策として飼っている猫たちと暮らす。

ます。地域の田畑でつくったもので牛を育て、堆肥をその田畑に還元する。資源を循環させ持続可能な酪農をするための連携が、地域でとれているようです。

いつか地域に恩返しを

牛を育てる上で大切なことは、カウコンフォート(乳牛が快適に過ごせる環境づくり)です。牛の寝床を清潔にし、

「庄原には黒毛和牛の血統の原点である、比婆牛」があります。また生乳出荷量も県内で一番多く、偉大な土地で仕事ができることを誇りに思っています。現在半分しか埋まっていらない牛舎を全て活用し、最盛期にぎわいを取り戻したい。子どもたちにはおいしい牛乳を飲んで牛乳を好きになってほしい。牛を軸に地域と連携して農地を保全し、地域を守り、いつか育ててくれた地域への恩返しをすることが目標です」と八谷さんは語ります。



庄原市内のかがやくひとを紹介します

vol.4

地域ぐるみで牛を飼う

呼び水は若い仲間たち
八谷さんは中学校までは庄原で過ごし、高等専門学校で土木を学び、東海地方の鉄道会社に就職しました。10年間、夜間に線路の保全をし、鉄道会社の管内で転勤・引越しを繰り返す生活。休日は郊外の牧場へ行き牛を見たり、車で実家に帰って農作業をしたりしていました。

そんな中、祖父も、実家を継ぐはずだった弟も亡くなり、一人で切り盛りをするようになった父が畜産業をやめ

ようかと言いました。小さい頃から共に暮らしてきた牛たち。このままやめていいのか悩む八谷さんを地元へ引き戻すきっかけになったのが、同じ町内で頑張っている2人の若い先輩酪農家でした。祖父の代から共同で牧草をつくり、助け合ってきた仲間たちがいることが、八谷さんの支えになったのです。

現在、小用・高地区にある3農事組合法人・2営農集団と連携し、地域の転作田や遊休農地を活用して、飼料稲、飼料トウモロコシ、牧草をつくって



どの牛も人懐こく、カメラに興味津々